

第2回高松港港湾脱炭素化推進協議会資料

脱炭素化実現に向けた高松港の基本コンセプト

高松港における「C」「N」「P」の実現

基本コンセプト

C : Comfortable (快適)

県庁内関係部署が進める、にぎわい創出に係る事業と連携し、高松港を訪れる人にとって快適な空間を創造するための一翼を担う計画とする。

N : Network (ネットワーク)

坂出港をはじめ、他港の動向を見ながら連携(ネットワーク)を検討するなど、効果的なサプライチェーンの構築を図り、広域的な協力関係を築いていく。

P : Proceed (前進・継続)

県内唯一の国際コンテナターミナルや国内有数のフェリー輸送の拠点として、持続的な発展を図るとともに、社会情勢の変化に対応し、適宜、計画の見直しを行い、促進事業等の取組みをフォローすることで、脱炭素の実現を前進させる。

脱炭素化推進計画

- 高松港港湾
- サポート高松地区プロムナード化等周辺環境整備事業と連携
⇒高松港周辺のにぎわい創出
 - 陸上電源の追加導入
⇒クルーズ客船等の利便性向上
 - 船舶、荷役機械等の燃料転換
 - 工場等の燃料転換、電化の促進
⇒排気ガスの排出ゼロ

- 水素及びアンモニア、合成燃料等のサプライチェーンの構築
⇒効果的なサプライチェーンの構築
- 再生可能エネルギー等の新規電源開発における連携
⇒広域的なクリーンエネルギーの供給網を構築
- 高松港・坂出港協議会とともに、香川県、坂出市が共同事務局として、両港の果たすべき役割と連携を踏まえ、効果的・効率的な協議を進める。

- 県内唯一の国際コンテナターミナルや国内有数のフェリー輸送の拠点として持続的に発展
⇒脱炭素化に配慮した港湾機能の高度化による競争力の強化
- 港湾脱炭素化促進事業の見直し
⇒社会情勢の変化に対応
- 計画の達成状況の評価・ロードマップの更新
⇒協議会として事業実施主体者の取組みを相互フォロー